

令和6年度入学生 S・Kさん

(1) 税理士の道を目指した理由

就職活動のときまで税理士の道は考えておらず簿記すら知りませんでした。ある会計事務所の就職説明会で聞いた「経営相談所」という言葉が心に残り、その事務所で働くことを決めました。

この業界で働いていく中で、自分が何者であるかを端的に表現するのに税理士の資格は必要だと感じたため、税理士資格を取ろうと決意しました。現在は税理士試験科目3科目合格しています。

(2) 平成国際大学大学院を選んだ理由

私は自宅が埼玉で職場が東京です。平成国際大学大学院を選んだ理由は、①講義の始まる時間と終わる時間が他の大学院よりも早いこと ②自宅と職場との関係で通いやすいこと ③6限7限がセットで開講されているため効率的に単位を取得できると思ったこと ④職場の先輩におすすめされたためです。

入試説明会で指導教授のお話を聞き、最後に自分の気持ちを確認、平成国際大学大学院に入学しようと思いました。

(3) 研究テーマ

修正申告の提出が更正を予知してされたものでないときには過少申告加算税は課されないという「税務調査と更正の予知」が研究テーマです。比較的新しい判例があり、評釈が多く存在し、最近改正が行われている分野で、自分が興味のあるものという点で考えました。

(4) 学びの中で、最も印象に残っているエピソード

租税法の演習では、判例を取り上げて、原告、被告、裁判官の立場を持ち回りに模擬裁判を行います。最後は裁判官役が勝敗を決めるということもあり、熱が入ります。自分が原告であるか被告であるかによって条文の読み方が変わるということ学んだことが大きいです。模擬裁判終了後、先生に「行った主張は果たして本当に妥当であるか。」と問われると「う～ん」と悩んでしまうことが多々あり、毎回気づきがあります。

(5) 今後の目標

修士論文を完成させ、税理士登録を済ませた後は、今いる職場の事業を引継ぐこととなります。この業界も変化が必要だと感じています。必要なものは残していきながら、新しいものはドンドン取り入れ、たくさんチャレンジしていきたいです。これからも「経営相談所」というスタンスは大切にしていきたいです。

(6) 受験生へ一言

税理士試験科目の勉強とは異なり、大学院では判例や学者の解説を読み込むこととなるため、大変ではありますが、面白く実務で必要になることを学べていると実感しております。税法2科目合格と比べ、より確実ですし、それも踏まえると私は税法2科目受験よりも大学院での勉強をおすすめします。

また、多くても10名の学年で、1年次の講義はほぼ毎日会う為、密度が濃いです。共通の話題があり、同じ志を持った者と学び合うこの環境は今までの社会人生活にはありませんでした。今後何かあった時に頼れる仲間ができたことは大きいと感じています。